

株主・投資家とのエンゲージメント実績

当社は、コーポレートガバナンス基本方針に基づき、決算・経営計画・ESG経営・各事業の状況などをアジェンダとして定期的にエンゲージメントの機会を創出しており、代表取締役を含む経営陣及びIR担当部署等は、国内外のIR活動を通じ、機関株主・投資家、アナリストを対象とする面談及び個人株主・投資家向け説明会を積極的に実施しています。

また、四半期毎の決算説明会や半期毎の経営計画説明会を開催するほか、工場等の施設見学会を実施する等、個別面談以外の直接的なコミュニケーションの充実に取り組んでいます。また、2023年度からは現経営陣の執行に対する評価やガバナンス強化などをテーマとして、社外取締役と機関株主のsmallミーティングも実施しており、機関株主の方々と活発な議論を行い、意見や情報を相互にインプットする貴重な機会としています。

【2025年度における株主・投資家との主なエンゲージメント実績】

■機関株主・投資家、アナリスト対象

IRイベント	実績(回数/延べ社数)	活動状況(役職等は活動実施当時)
決算説明会	4回	代表取締役兼CEO 社長執行役員、代表取締役副社長執行役員(財務部門・人事部門・監査管掌、管理部門担当)、取締役専務執行役員(開発型ビジネス部門担当、国際事業本部長)、常務執行役員(財務部門担当)、業務役員IR部長が出席し、四半期ごとに決算説明会、第2・第4四半期の決算説明会に合わせて経営計画説明会を開催
経営計画説明会	2回	
事業・ESG関連説明会	1回	執行役員ESG経営推進本部長と各部会長がウェビナーに登壇し、当社ESG経営に関する活動の説明を実施
社外取締役によるsmallミーティング	1回/15社	社外取締役が出席する機関株主を対象としたsmallミーティングを開催
証券アナリストとのsmallミーティング	2回/28社	業務役員IR部長が出席し、証券会社のアナリストが主催するsmallミーティングを実施
海外IR	6回/76社	代表取締役兼CEO 社長執行役員、代表取締役副社長執行役員(財務部門・人事部門・監査管掌、管理部門担当)、取締役専務執行役員(戸建事業管掌、リフォーム事業担当)、常務執行役員(財務部門担当)、財務部長、業務役員IR部長、IR部員が北米・欧州を訪問し、海外機関投資家と面談する海外IRを実施
証券会社主催カンファレンス	4回/40社	IR部が中心となり、証券会社が主催する海外機関投資家を中心としたカンファレンスに参加
当社施設案内	6回/30社	当社国内外施設の機関投資家向け案内を実施 内、海外視察の回数:2回
SR個別面談	17社	代表取締役兼CEO 社長執行役員、代表取締役副社長執行役員(財務部門・人事部門・監査管掌、管理部門担当)、専務執行役員(コーポレート本部長)、社外取締役等が出席しShareholder Relationsの一環として機関株主の議決権行使担当者等と定期的に対話
IR個別面談	335社	IR部が中心となり個別面談を実施 IR個別面談の内、ESGテーマに特化した対話件数:5社
対話延べ社数合計	541社	内、国内機関投資家/アナリスト 311社 内、海外機関投資家 230社

■個人株主・投資家対象

IRイベント	実績(回数)	活動状況
工場見学会	1回	個人株主を対象にJUNOPARK・Tomorrow's Life Museum 関西の見学会を開催
証券会社主催会社説明会	2回	証券会社が主催する個人投資家対象のオンライン説明会に参加

【株主・投資家の主な関心事項と対話を踏まえ取り入れた事項】

当社は上記のとおり国内外の機関株主・機関投資家のファンドマネージャー、ESG担当、議決権行使担当やアナリスト等と直接的な対話を通じて積極的な意見交換を実施しております。これらの対話における株主・投資家の主な関心事項としては、事業面では業績の概況に加え、国内事業・国際事業の市場環境や当社の競争優位性と今後の見通し、株主還元や資本政策の方針を含む中期経営計画の方向性などが挙げられます。また、ESG面では事業戦略と一体化した当社のESG経営に対する評価、価値創造プロセスや人的資本に関する考え方について多くの意見を頂いています。

株主・投資家からの意見・懸念事項やこれらの対話を通じて得られた気づき事項は、IR担当部署より適時に取締役会及び経営陣にフィードバックし経営判断の参考とすると共に、今後の対話に反映するよう努めており、経営会議及び取締役会で議論したうえで、各種資本政策やROE経営の強化など現在推進中の第7次中期経営計画への反映や、VALUE REPORT等の開示資料の拡充へと繋げています。